

びろっば

Vol.478 2026. 5



〈入江理事長プロジェクト〉

本院外来センター 医事業務中央化

医療情報

筆頭部長交代 〈救命救急センター、リウマチ・膠原病内科〉

〈近森病院開設80周年記念事業〉

第2弾 近森電車、特別版に模様替え!

近森就職セミナー Start Dash!!



表紙の写真

2026年度
初期研修医の皆さん

近森病院

近森リハビリテーション病院

近森オルソリハビリテーション病院

からのお知らせ

2026年度の下記の祝日は、通常どおり外来診療をいたします

11月3日(火)〈文化の日〉 / 2月11日(木)〈建国記念の日〉 / 2月23日(火)〈天皇誕生日〉

入江理事長の

Project

近森会の今後の新しい

プロジェクトについて、順次ひろっぱでお知らせします。

プロジェクト

社会医療法人近森会 理事長

入江 博之 いりえ ひろゆき

プロジェクト 13

本院外来センター 医事業務中央化

会計業務の集約と効率化

2025年12月末に医事電算センターが管理棟7階に完成しました。

これまで各階ごとに医事課の会計スタッフを配置していましたが、2026年4月13日からは、医事電算センターへ集約し、外来診療の遠隔会計処理を開始しました。

また、外来センター1階にあった紙カルテ庫のスペースを待合室に改装し、ゆとりのある環境で患者さんに会計をお待ちいただけるようになりました。

外来センター機能の再構築

一方、保険確認については、マイナ保険証の普及が進んでいるものの、公費医療等に係る紙の保険証については、引き続き窓口での対面確認が必要です。このため、2027年1月を目途に保険確認業務を1階へ集約し、すべての外来患者さんの保険確認を一元的に行う体制へ移行します。

これにより、「会計業務の集約」と「窓口機能の集約」を一体的に推進し、重複解消により業務の効率化を図ります。その結果、外来センターに配置している医事課職員は、現在の17名体制から約8名体制へ再配置できる見込みです。



未来に向けて

～デジタル化と患者サービスの向上～

なお、本取り組みは現状への対応にとどまらず、将来的に予定されている公費保険のオンライン資格確認や、難病医療費助成における管理表の電子化など、医療制度のデジタル化を見据えたものです。制度整備が進むことで、保険確認業務のさらなる効率化が期待されます。

高知県では少子高齢化の進行に伴い、将来的には医療事務職員の人材確保が一層難しくなることが見込まれています。当院では、こうした将来を見据え、業務の効率化と適正な人員配置を進めることで、持続可能な医療提供体制の構築と患者サービスの向上を目指していきます。

職員募集



3,000とおりの誇れる仕事

募集職種

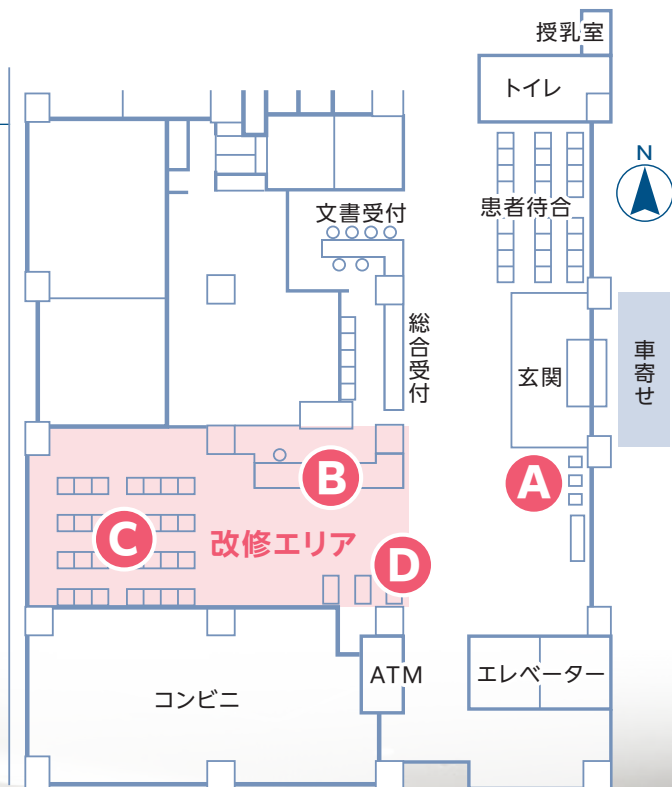
- 薬剤師
- 診療放射線技師
- 医師
- 臨床検査技師
- 看護師
- ソーシャルワーカー
- 介護福祉士
- 事務
- 救急救命士

詳しくは、近森会グループHPの採用ページをご覧ください。



外来センター 1階

改修前



改修後



受付から診察、会計・お支払いまでの流れを見直し、患者さんがスムーズに移動できる動線へと整理しました。

A

再診受付機(左)、 マイナ保険(右)

再診受付とマイナ保険証の受付がこちらで可能です。



B

会計受付

診察終了後は、受付票を会計受付へご提出ください。会計番号を発行します。



C

会計待合

会計ができましたら、前方のモニターに会計番号を表示してお知らせします。



D

自動支払機

現金やクレジットカードなどでお支払いいただけます。



筆頭部長交代

救命救急センター

このたび、根岸正敏前センター長・副院長の後を受け、救命救急センター長を拝命いたしました。責任の重さを改めて感じておりますが、救急科には経験豊かで多彩な力を持つメンバーがそろっており、その力を結集しながら、当院の救命救急センターをさらに発展させていきたいと考えております。

All近森で

救急医療は、決して救急科だけで成り立つものではありません。各診療科の医療スタッフの皆さまをはじめ、画像・生理・検査・手術・外来・薬局・車両・受付・清掃・施設機材管理など、多くの部署の支えがあって初めて患者さんの受け入れと治療が可能になります。日頃から支えてくださっているすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。

一人でも多くの命と健康を

救急の現場では、短い時間の中で多くのご協力をお願いすることもあります。しかし、当院で患者さんを受け入れ、診療し、命と健康を守ることがその方にとって最善である限り、私たちはチームとして力を尽くしてまいります。これからも地域の皆さまに信頼される救命救急センターであり続けられるよう努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

一人でも多くの命と健康を守るため、皆さまと力を合わせて取り組んでまいります。



信頼される救命救急センターであり続けるために



近森病院 救命救急センター
センター長・救急科 部長
井原 則之 いはら のりゆき

交代日 / 2026年4月1日

- 【出身大学】群馬大学(1998年卒業)
- 【主に担当する疾患・手技】
救急・外傷・創処置・プライマリーケアなど
- 【認定資格】
 - 日本救急医学会 救急科専門医
 - 日本外科学会 認定登録医
 - 社会医学系専門医協会 認定指導医
 - 厚生労働省臨床研修指導医
 - 高知県災害医療コーディネーター
 - 高知県災害薬事コーディネーター講師
 - 高知県DMAT協議会副会長
 - DMATコーディネーター
 - JICA 国際緊急援助隊 救助チーム
国際評価員
 - 災害医療ACT研究所 理事
 - 日本災害医学会 災害薬事委員会 委員
 - 日本災害医学会 評議員
 - 日本外傷診療研究機構 JATECインストラクター
 - JPTEC協議会 JPTECインストラクター
 - 日本集団災害医学会 MCLS世話人
 - 日本災害医学会 PhDLS 管理世話人



2027年度

近森会グループ
看護師採用試験

第2回 2026 6/27 SAT 土 .28 SUN 日

第3回 2026 8/29 SAT 土 .30 SUN 日
第4回 2027 1/30 SAT 土 .31 SUN 日



●お問い合わせ先 / TEL:088-822-5231(代表) メール:kango@chikamori.com

～抱負を語る～

リウマチ・膠原病内科

リウマチ・膠原病内科の吉田剛と申します。このたび、近森病院リウマチ・膠原病内科部長を拝命いたしました。

これまでの経験を生かし、医師・看護師・多職種が一体となったチーム医療を大切にしながら、患者さん一人ひとりに寄り添った診療を実践してまいります。

多職種・科間連携の深化と、 免疫難病に対する先進的治療の推進

具体的には、本年度より外来スタッフとの多職種カンファレンスを実施するとともに、当科と総合内科、腎臓内科、糖尿病内科が一堂に会し、患者さんの診療を総合的に検討するカンファレンスを行っております。

また、地域医療の中核を担う存在として、地域の医療機関との連携をさらに強化し、安心して受診いただける体制の構築に努めてまいります。

当院では、多くのバイオ製剤やJAK阻害薬を活用し、免疫難病に対する先進的治療を推進するとともに、重症患者さんに対する集中治療を含めた急性期医療にも対応し、切れ目のない医療提供を目指します。

将来の医療を担う 人材の育成も

さらに、当科をローテートする医学生、研修医、専攻医の先生方に対して、可能な限り多くの学びの機会を提供し、将来の医療を担う人材の育成にも尽力してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



近森病院 リウマチ・膠原病内科
部長 吉田 剛
よしだ たけし

交代日 / 2026年4月1日

免疫難病に対する先端治療を

【出身大学】鳥取大学(2007年卒業)

【主に担当する疾患・手技】

関節リウマチ、全身エリテマトーデスなどのリウマチ性疾患全般、末梢神経・筋疾患、神経免疫疾患

【認定資格】

- 日本内科学会 総合内科専門医・指導医
- 日本リウマチ学会 専門医
- 日本神経学会 神経内科専門医
- 日本臨床神経生理学会 専門医 (筋電図・神経伝導)
- 2024年 Johns Hopkins Hospital Myositis Fellowship Training Program 修了
- ECFMG Certificate

80周年
記念事業
第2弾

近森電車、特別版に模様替え!

2026年4月1日

職員公募作品から選ばれた80周年記念ロゴマークをあしらった近森電車が4月1日にお目見え、当日限定で高知駅～棧橋間の南北線を走行しました。

この80周年記念の近森電車は、来年8月まで東西線を運行しています。高知の街を走る、鮮やかな記念電車をぜひお楽しみください。



2025年度 研修医修了証書授与式

2026年
3月26日

量が質を生む、その先へ

初期臨床研修管理委員会 委員長/
近森病院 救急科 科長

三木 俊史 みき としふみ

研修医の皆さん、臨床研修修了、心からおめでとうございます。若手の最大の武器は体力です。まずは量をこなし、医師としてのスキル・知識・経験という「人的資本」を積み上げてください。それが信頼や評判という「社会資本」を生み、人生を支える基盤となります。

そしてもう一つ、「良い問いを立てる力」を大切にしてください。AIが答えを出す時代だからこそ、本当に向き合うべき課題を見つけるのは現場の人間です。そう考え続ける姿勢が、より良い臨床にも、研究にも、医師としての成長にもつながります。

皆さんの活躍を心から期待しています。



2024年度初期臨床研修医

財産となった2年間

秋澤 麗菜 あきさわ れいな

4月～近森病院 消化器内科へ

医師である父の背中を見て育ち、医師という職業に憧れ、念願の医師免許を取得してから早2年。当初は自分の無力さに悔しい思いをすることも多々ありましたが、研修をさせていただく中でできることが増え、医師としてのやりがいを感じるようになりました。この経験は私の医師人生の中で大きな財産となったと思います。これからも感謝の気持ちを忘れずに、日々精進して参ります。



初期研修を終えて

池田 裕菜 いけだ ゆな

初期研修2年間を通して、多くの先生方、スタッフの皆さまに支えられながら、医師としての基礎を学ぶことができました。高知で過ごした2年間は私にとって忘れられない思い出となりました。近森病院で学んだことを大切にしながら、今後の診療にも生かしていきます。



2年間=1,000台以上

大東 雄太 おおひがし ゆうた

4月～近森病院 消化器内科へ

長かったようで短い2年間で終わりました。2年間で診察した救急車台数は約1,000台程度のように、最初と終わりを比べると別人になっているかと思えます。4月より消化器内科で勤務しますので、この経験をもとに高知県民の健康を支える一助となれるよう、奮闘して参ります。本当に充実した2年間でした。ありがとうございました。



あっという間でした

絹川 仁康 きぬがわ のりやす

4月～近森病院 消化器内科へ

初期研修で過ごした2年間はとてもあっという間でした。各科指導医の先生方をはじめとして看護師さんや栄養士さん、薬剤師さんなどコメディカルの方々に支えられつつ、たくさんのことを学ばせていただきました。4月からも近森病院の消化器内科で精進して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



ありがとうございました

竹倉 皓大 たけくら こうだい

4月～近森病院 消化器内科へ

充実したあっという間の2年間で過ごすことができました。右も左も分からなかった僕を、一から指導してくださいました先生方、スタッフの皆様方には感謝の気持ちしかありません。初心を忘れることなく、引き続き近森病院で消化器内科医として研鑽を積んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



冷や汗も成長のうち

田村 諒太

たむら りょうた

4月～近森病院
消化器外科へ

早朝採血で冷や汗を流しながら失敗し、看護師さんに怒られた日はいまだに覚えています。CVカテを留置しガウンを脱いだ時に汗がかかなくなったこと、患者さんの目をしっかり見て話ができるようになったことなど、少しずつ医師として成長できていますでしょうか。色々な事がありました。楽しく研修できました。4月からもよろしくお祈りします。

とても
楽しかった
研修医生活

藤光 涼太

ふじみつ りょうた

4月～近森病院
循環器内科へ

2年前に始まった新社会人としての研修医生活。皆様にご指導いただき、今日を迎えることができました。多々ご迷惑をおかけしたと思いますが、近森病院での日々は間違いなく最高の研修医生活であったと思います。この矜持を胸に、謙虚な心を忘れず4月以降も頑張りますので今後ともよろしくお祈りいたします。



ベスト研修医賞



ベスト研修医賞を受賞した
藤光涼太医師。

三木委員長と、プログラム責任者の
杉田部長とともに。おめでとう！

本当にありがとう
ございました

宮地 博紀

みやじ ひろき

4月～近森病院
整形外科へ

全てが分からなかった初日から、はや2年が経ちました。失敗と反省の連続でしたが、同期、先生方、メディカルの方々など、支えてくださった全ての皆様のお力添えのおかげで、何とかここまで来ることが出来ました。本当にありがとうございました。

4月からも初心を忘れず頑張りますので、今後ともよろしくお祈りします。

憧れの近森病院での2年間

八木 啓

やぎ けい

4月～近森リハビリテーション病院
リハビリテーション科へ

中・高の通学途中、前を通るたびにいつかここで働きたいと思っていた近森病院。それが叶い、初期研修医として過ごした2年間は、嬉しいことも悔しいことも含め、多くの経験を積むことができました。この経験を糧に、病気だけでなく人を診て、その人らしい生き方を支えられる医師を目指し、これからも努力し続けて参ります。

高知大学たすきがけ
1年目修了救急も筋肉も鍛えられた
1年

藤井 亮佑

ふじい りょうすけ



近森病院での研修では、救急対応を中心に内科疾患への実践的な診療を学びました。メディカルの方々の温かい支えにも助けられました。夏にはよさこいにも参加し、高知らしい思い出もできました。忙しい日々の合間には筋トレにも励み、心身ともに鍛えられた1年でした。

2025年度 近森病院
研修医修了証書授与式および懇親会

日本専門医機構 専門研修プログラム 修了しました

内科

内科医の基盤を胸に、 次のステージへ

近森病院 循環器内科

田中 漱一郎 たなか そういちろう



無事にJ-OSLERの評価も終え、内科専攻医としてのプログラムを修了することができました。充実した研修期間の中で、内科医として幅広い知識と対応力を養うことができたと感じています。春からは再び循環器内科医として新たなスタートを切ります。初心を忘れることなく、より一層の研鑽を積んでいく所存です。

救急科

救急医としての第一歩

近森病院 救急科

川瀬 博也 かわせ ひろや



初期研修を終えて救急科専攻医となり、あっという間の3年間でした。各科の先生方やスタッフの皆様を支えていただきながら成長することができました。救急医としては始まったばかりであり、今後も一歩ずつ成長し、高知県の救急医療に貢献できるよう、患者さんに寄り添う救急医を目指して参ります。

救急科

5年間の学びを経て

近森病院 救急科 廣瀬 海帆

ひろせ みほ



あっという間の5年間でしたが、たくさんの方々に支えていただき、無事に研修を終えることができました。医学的知識にとどまらず、多くを学んだ充実した日々でした。

この経験を糧に、今後も高知県の医療に貢献できるよう、研鑽を重ねてまいります。

救急科

岐路

近森病院 救急科

吉村 和樹 よしむら かずき



この度救急科プログラムを修了させていただきました。様々な方々に支えられながら、自分自身を高めることができる3年間でした。ここでひとまず一区切りではございますが、これまで以上に努力を忘れず、医療を提供していきたいと存じます。

資格取得

救急科専門医



近森病院 救急科

立道 佳祐

たてみち けいすけ



救急科専門医



近森病院 救急科

飯沼 未来

いぬま みくる



救急科専門医



近森病院 救急科

小林 海里

こばやし かいり



学会開催

第39回 高知県理学療法学会

2026年2月23日 / 高知健康科学大学

地方創発をテーマに

学会長 / 近森会 リハビリテーション部 統括部長
高芝 潤 たかしば じゆん

第39回高知県理学療法学会を無事に開催することができました。学会長としてこの大役を務めさせていただき、多くの学びと感動を得ることができたことは、私にとって大変貴重で素晴らしい経験となりました。

理学療法の持続可能性を、地方から

本学会は「地方創発」をテーマに掲げ、人口減少や少子高齢化が進む中で、地方から理学療法の持続可能性をどのように発信していくかを問い直す機会としました。特別講演やシンポジウムでは、学生から臨床家までのキャリア形成や人材育成の在り方について活発な議論が交わされ、地方から未来を切り拓く力強いメッセージを届けることができたと感じています。

多くのスタッフが運営に

当法人からは準備委員長、学術担当をはじめ多くのスタッフが運営に携わり、準備段階から当日まで多大なるご尽力をいただきました。その献身的な支えがあったからこそ、大きなトラブルもなく、参加者の皆さまからも好評をいただく形で学会を終えることができました。ご協力いただいたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

▶ 運営スタッフ一同。前列の左から江口準備委員長、高芝学会長、安村学術担当（近森リハ病院PT主任）。



▲ 左は筆者（学会長）、右は準備委員長を務めた近森リハ病院 江口智博療法士長。



第73回よさこい祭り

踊り子 募集

本祭 8月10日 11日 祝

詳細はホームページをご覧ください。

申し込みフォーム、募集要項はこちら

【問い合わせ先】よさこい「ちかもり」実行委員会
chikamori.yosakoi@chikamori.com

※本ポスター「よさこいちかもり」の題字は中嶋医師が揮毫しました。

よさこい

ちかもり

80th
ANNIVERSARY
CHIKAMORI
HOSPITAL

近森病院 開設80周年記念

今年のテーマは
「つなぐ」

2026年3月28日



2025年度

看護師特定行為研修修了式

2025年度の「近森病院看護師特定行為研修修了式」が開催されました。29名が修了され、うち近森からは12名、新たに救急、集中、外科系基本、麻酔、血ガスの各コースを修了しました。



看護師特定行為は、医師が作成した手順書を元に、研修を修了した看護師が標準化された医療行為を実施できるものです。迅速な対応や、チーム医療、多職種連携の強化が期待されます。修了生の自施設での活躍を楽しみにしています。



研修の様子

すまいる♡ ナース通信

エキスパートナース



近森会グループ看護師
マスコットキャラクター
モリンちゃん

その人らしさを支えるために

近森リハビリテーション病院 3階病棟 看護師/
回復期リハビリテーション看護師

寺尾 恵 てらお めぐみ



回復期看護は、患者さんの「できる」が少しずつ増えていく過程に寄り添える、あたたかさややりがいのある分野です。その変化をチームで支え、共に喜び合えることに大きな魅力を感じています。患者さん一人ひとりの思いや生活背景を大切にしながら、多職種と協力し、その人らしい生活の実現を支えていきたいと思っています。

また、院内でも回復期リハビリテーション看護師の仲間が増えています。互いに学び合いながら、よりよい回復期看護を目指し、自分自身も成長できるよう学び続けていきたいと思っています。

ユニフォームが 変わりました NEW

臨床検査部

2026年3月23日～
両側に黒のラインが
入りました。



画像診断部

2026年4月1日～
カラーが
変わりました。



ドイツ留学 Report

Bonn大学病院(留学中)
循環器内科 菅根 裕紀
すがね ひろき

vol.6



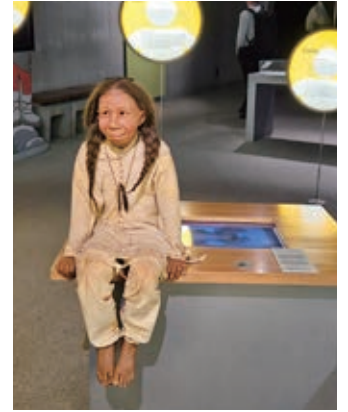
—— ネアンデルタールを訪ねて ～人類進化の原点に触れる～ ——

病理学者が見抜いた人類史の重要性

先日、Bonnから鉄道で2時間くらいの位置にある「ネアンデルタール」に行ってきました。皆さん、有名な旧人類のネアンデルタール人は知っていますか？ネアンデルタールには現在博物館があり、ネアンデルタール人発見の経緯を中心に興味深い展示があります。その昔、ネアンデルタールには石灰石を掘るための鉱山が存在し、石灰石の採掘過程で謎の人骨(のちのネアンデルタール人の骨)がたくさん見つかっていました。当時はダーウィンによる進化論が認知される前であり、その人骨に誰も興味を抱きませんでした。しかし、進化論が一般化されるにつれ、その価値に気がついた人物がいます。病理学の権威Rudolf Virchow(ルドルフ・ヴィルヒョウ)(※)です。医学教育を受けた人は聞いたことがある名前かもしれません。血栓(特に静脈血栓)ができる原因を説明する、非常に重要な概念である「Virchowの三徴(Virchow Trias)」のVirchowですね。


人類の歴史を身近に学べる博物館

そして、このネアンデルタール人の発見は、人類の進化に関する研究において重要な意味を持ちます。博物館にはこれらの経緯を



踏まえつつ、人類の進化から宗教論まで網羅されていました。ドイツの博物館って、分かりやすく面白いです。ちなみに訪問時、博物館の入場者は7割程度が小学生くらいの子もたちでした。週末は博物館や美術館、もしくは世界遺産を気軽に見に行けるのは教育環境的に素晴らしい気がしますね。ではまた次回。

※ルドルフ・ヴィルヒョウ(Rudolf Virchow, 1821-1902)…「近代病理学の父」と呼ばれるドイツの医師・科学者。



2026年度・第12期生

近森病院附属看護学校

新入生39名が、これからの地域医療を支える看護師への第一歩を踏み出しました。式典後は、それぞれの夢を託し、バルーンリリースを行いました。



入学式

2026年
4月9日



熱烈応援 昇格人事

感謝の気持ちを感じる・感じさせる、 思いやりのある看護

近森病院 看護部長
町田 清史 まちだ きよふみ



近森病院開設80年の節目に大役を任せられ、身の引き締まる思いでいっぱいです。
迫りくる高齢化社会で少しでも人の役に立ちたいと看護の道に進み、近森病院に就職して25年、放射線科・ER・ICU・救命救急病棟・地域医療連携センター（前方連携）と色々な経験をさせていただきました。人生の半分を近森病院の看護師として歩んできた中で、患者さんやご家族、また職員からの感謝の言葉が一番うれしく、やりがいを感じさせてくれる瞬間です。出会ってから15年ほど経つ患者さんからは、季節の折々に元気を知らせてくれる心のこもった手紙を頂きます。

未熟ではありますが諸先輩方のご指導の下、患者さんやご家族だけではなく、職員に対しても思いやりのある対応ができるスタッフを育て、働きやすくより強固なチーム医療を実現できるように取り組んでまいりますので、皆様よろしくお願いたします。

医療現場における危機管理

危機管理部 部長 肥本 裕二
ひもと ゆうじ

今春、42年間勤めた高知県警察を退職し、三谷危機管理部長の後任として、近森会でお世話になることになりました。どうかよろしくお願いします。

近森病院では、危機管理の仕事に携わるとは思いますが、一般的な危機管理と比べ、医療現場における危機管理には、医療特有の複雑さや倫理的

な側面、人命に関わるといった重大な違いがあるのではないかと考えています。よって、医療現場の危機管理は、より高い専門性と、即座に人の命に関わる緊張感の中で行われる点で、一般的な危機管理よりも厳しい制約と高い責任が求められるのではないかと思います。

これまでの、経験を生かしながら、また、一緒に仕事をさせていただく方々と協力しながら、平穏な医療現場の確保を目指して、与えられた役割を果たしていきたいと考えています。

暮らしへ つなぐ 看護

近森リハビリ
テーション病院
看護師長
高橋 素直
たかはし すなお



この度、師長を拝命し大変光栄に存じます。回復期は「元の生活へ戻る力」を支える重要な役割が求められます。2040年問題や地域包括ケアの進展を踏まえ、多職種連携を戦略的に強化しながら生活再建まで見据えた質の高い看護を実践し、地域に選ばれる病棟づくりに貢献してまいります。

近森会グループで元気に働く仲間を紹介します



保育室そると 修了式

2026年3月28日



補助輪が 外れるように

近森オルソ
リハビリテーション病院
事務長代理

大中 崇
おおなか たかし



オルソ病院に異動してから8ヶ月。春から年長になる娘は補助輪を外し自転車を楽しんでいますが、私は、皆様のご指導、ご協力に日々助けられています。早く補助輪が取れるよう一層精進して参りますので、引き続き宜しくお願いします。

一歩進めば 一歩近づく

財務部 部長補佐

小松 英夫
こまつ ひでお



この度、ご縁を頂き、近森会の一員となりました。完成した数字を受け身で扱うのではなく、目指す姿に近づくために数字をどうつくっていくかを考え、各部署との連携を大切に組織全体を支え前に進めるよう仕事に取り組んで参ります。ヒト・モノ・カネ・情報を出会いだけで終わらせず、活かす！繋げる！よろしく願いいたします。

退職 ごあいさつ

近森病院 泌尿器科 部長

佐竹 宏文 さたけ ひろふみ (写真中央)

在職 2020.4.1~2026.3.31



近森病院での6年間

2020年、泌尿器科部長としての着任

2020年に入職し6年間、泌尿器科部長として勤務させていただきました。ちょうどコロナ感染症で国内が騒然としたさなかの着任でした。

チームで築いた診療・教育の充実と成果

当初泌尿器科医は私を入れて2人と非力でしたが、私が勝手に心の中で決めた使命は、近森病院泌尿器科の活性化でした。市内の基幹病院に負けない泌尿器科の実績を目指し、特に癌の治療に関して当院でも標準治療が普通にできるよう、私の得意とする腹腔鏡手術を導入しました。最初症例は少なかったのですが、徐々に院内外からの紹介数が増え、診断から治療まですべてのことが賅えるようになりました。また救急疾患に関しても可能な限り柔軟な対応を心がけ、他科の先生にもたくさん治療の依頼を頂きました。教育にも力を入れ、若手の先生には内視鏡手術の術者を積極的にしてもらい、専門医さらには腹腔鏡認定医を取得してもらいました。これらすべて私一人の力ではなく、近森病院のスタッフの方々のご協力の賜物だと思っております。

近森魂を誇りに

この度4月より医局人事で国立病院機構高知病院に転勤になりますが、この素晴らしい高知の最後の砦、近森病院で学んだ近森魂を私の誇りとして今後の医師人生に役立てていきたいと思っております。長い間本当にありがとうございました。



たのしい
おもいで
いっぱい
できたね!

CHIKAMORI COLLECTION

近森コレクション

不定期
掲載

グレンドロナック12年
内田 貴裕氏 (アートセンター画業)



アートセンター画業



New face

ニューフェイス

新しく入職した医師を紹介します。

- 1 所属
- 2 出身地
- 3 最終出身校
- 4 卒業年次
- 5 趣味など



井手 恵太
いで けいた

- 1 循環器内科
- 2 大阪
- 3 奈良県立医科大学
- 4 2023年
- 5 早く戦力になれるよう精進いたします。どうぞよろしく願います。



田中 漱一郎
たなか そういちろう

- 1 循環器内科
- 2 東京都
- 3 高知大学
- 4 2021年
- 5 1年ぶりの高知に安心感をおぼえました。自然を感じながら成長していきたいです。



岩本 啓寛
いわもと よしひろ

- 1 消化器内科
- 2 高知市
- 3 自治医科大学
- 4 2020年
- 5 年に数回マラソンを走ることが趣味です。今年もいっぱい走りたいと思います。



上田 侑希将
うえだ ゆきまさ

- 1 消化器内科
- 2 名古屋市
- 3 高知大学
- 4 2024年
- 5 2年間愛媛で研修し再び高知へ帰ってきました。また海釣りを再開しようと思います。



江口 直輝
えぐち なおき

- 1 消化器内科
- 2 大阪府
- 3 高知大学
- 4 2022年
- 5 去年1年外部で研修を受け、帰ってきました。読書と旅行が趣味です！



三上 博史
みかみ ひろふみ

- 1 消化器内科
- 2 広島県庄原市
- 3 高知大学
- 4 2024年
- 5 趣味はサウナと美味しいお店巡りをすることです。最近運動不足解消のため、テニスを始めました。



三好 利昌
みよし としまさ

- 1 脳神経内科
- 2 岡山県
- 3 高知大学
- 4 2020年
- 5 読書と文章を書くことが好きです。周囲への気配りを忘れず、一つずつ着実に仕事に取り組みます。



鈴木 穂乃詩
すずき ほのか

- 1 総合内科
- 2 高知県
- 3 高知大学
- 4 2023年
- 5 ピアノを習っていた時期があり、お休みの日には少し弾いています。笑うと線になる細い目がトレードマークです。



福成 信人
ふくなり のぶと

- 1 総合内科
- 2 東京都
- 3 昭和医科大学
- 4 2023年
- 5 横浜から参りました。福成と申します。1年間という短い期間ですが、高知をよく知れたらと思っています。



津風呂 秀生
つぶろ ひでき

- 1 消化器外科
- 2 奈良県
- 3 高知大学
- 4 2021年
- 5 半年ぶりに帰ってきました。よろしくお願いいたします。



福永 有紀子
ふくなが ゆきこ

- 1 乳腺外科
- 2 高知市
- 3 高知大学
- 4 2020年
- 5 乳腺良性腫瘍や乳癌診療を勉強中です。患者さんに寄り添った医療を提供できるよう心がけます。



小嶋 莉加子
こじまりかこ

- 1 形成外科
- 2 大阪市
- 3 国際医療福祉大学
- 4 2023年
- 5 サウナ、温泉巡り、美味しいご飯が大好きです。ぜひおすすめを教えてください。近森病院の一員として日々研鑽していきます！



島田 巽
しまだ たつみ

- 1 整形外科
- 2 高知県
- 3 千葉大学
- 4 2023年
- 5 趣味は映画鑑賞、ライブ、ランニングなどです。近森病院で外傷治療の経験を積みたいです。



田所 佑都
たどころ ゆうと

- 1 整形外科
- 2 高知市
- 3 徳島大学
- 4 2013年
- 5 趣味は読書・料理・ジョギングで、最近スペイン語・水泳を始めました。時々、息子達と市営プールにいます。



藤井 勇輝
ふじい ゆうき

- 1 整形外科
- 2 宮崎県宮崎市
- 3 鹿児島大学
- 4 2013年
- 5 初めて九州を離れて高知に来ました。仕事はもちろんですが、充実した高知、四国ライフを送りたいです。



梁瀬 瑛蘭
やなせ えいらん

- 1 脳神経外科
- 2 東京都
- 3 東京女子医科大学
- 4 2019年
- 5 2年ぶり3度目の近森です。おすすめの本、映画、教えてください。



濱田 雄一郎 はまだ ゆういちろう

- ① 心臓血管外科 ② 高知市
- ③ 高知大学 ④ 2021年
- ⑤ 1年ぶりに帰ってきました。また近森で働けることにワクワクしています。



廣瀬 聡一郎 ひろせ そういちろう

- ① 心臓血管外科 ② 高知県
- ③ 高知大学 ④ 2021年
- ⑤ また近森病院で仕事ができ、光栄です。



平野 孝士 ひらの たかし

- ① 救急科 ② 神奈川県藤沢市
- ③ 横浜市立大学 ④ 2016年
- ⑤ 数年ぶりに高知県に戻ってきました。地域の救急医療に貢献できるよう努力します。



鈴木 富有 すずき とみなお

- ① 精神科 ② 東京都
- ③ 高知大学 ④ 2021年
- ⑤ 皆さんのお役に立てるように精進して参ります。

① 所属 ② 出身地 ③ 最終出身校 ④ 趣味など

初期研修医

梶原 悠衣 かじわら ゆい

①

- ① 初期研修医1年目
- ② 東京都 ③ 高知大学
- ④ 新居生活が始まって、おうちをかわいくする事にはまっています。おすすめの家具屋さん教えてください。

竹内 晴菜 たけうち はるな

②

- ① 初期研修医1年目
- ② 高知県 ③ 高知大学
- ④ 趣味はカフェ巡りです。新しいカフェを開拓するのが好きなので、おすすめがあれば教えてください。

戸田 ひな とだ ひな

③

- ① 初期研修医1年目
- ② 高知県 ③ 高知大学
- ④ 趣味は友達とランチや飲みに行くことです。みなさんというんなお話をして仲良くなりたいです！

田村 睦樹 たむら むつき

⑥

- ① 初期研修医1年目
- ② 高知県 ③ 高知大学
- ④ 登山、スキーなど山を使ったアクティビティが好きです。山が好きなので、仲良くしていただくと嬉しいです！

藤田 勝美 ふじた かつみ

⑨

- ① 初期研修医1年目
- ② 東京都 ③ 熊本大学
- ④ 趣味はテニスです。身長が高いので見つけやすいと思います。



前田 佳澄 まえだ かすみ

④

- ① 初期研修医1年目
- ② 兵庫県 ③ 高知大学
- ④ 美味しいものを食べることやアニメ鑑賞が好きで、好きなことはつい続けてしまうタイプです。

鈴木 亜優 すずき あゆ

⑤

- ① 初期研修医1年目
- ② 群馬県 ③ 群馬大学
- ④ 優柔不断ではありますが、ここぞという時の決断力と決断後の実行力には自信があります。

中川 陽貴 なかがわ ようき

⑦

- ① 初期研修医1年目
- ② 高知県 ③ 高知大学
- ④ 小説や漫画が好きです！「変な○○」シリーズに最近ハマっています！皆さんのオススメも教えてください！

中村 拓登 なかむら たくと

⑧

- ① 初期研修医1年目
- ② 愛媛県 ③ 高知大学
- ④ 趣味は友人とスポーツをしたり観戦することです。多くの方々と働けることを楽しみにしております。

松浦 大晟 まつうら たいせい

⑩

- ① 初期研修医1年目
- ② 兵庫県 ③ 愛媛大学
- ④ 今の特技は全てを均等に食べ終える三角食べです。せっかく高知に来たので、カツオの薫焼きもマスターするのが目標です。

矢部 葵 やべ あおい

⑪

- ① 初期研修医1年目
- ② 高知県 ③ 高知大学
- ④ 7歳からバスケットボールをしております。チームワークを大切にしていきたいと思っております。

近森会グループ 2026年度

入社式

2026年4月1~2日

Welcome to CHIKAMORI
近森会グループ 入社式 2026



▲ 近森相談役による講話。近森の歴史を築いてきた当事者から、直接お話しいただける貴重な機会。

中途入職者を含む約200名が参加し、入社式が執り行われました。参加者一人ひとりが期待と緊張を胸に、医療人としての第一歩を踏み出しました。

毎年恒例の集合写真は、今年は入社式会場で撮影。手にしたタオルには、「地域と共に存続していく医療グループでありたい」というグループの想いが込められています。

これまで先輩たちがつないできた想いのバトンを受け取り、これからは皆さんがそのバトンを未来へとつないでいきます。

近森ライフが爽りあるものとなるよう、力を合わせて歩んでいきましょう。



▲ 管理者紹介として、近森会 入江理事長、近森病院 川井院長、近森リハ病院 和田院長、近森オルソ病院 鄭院長、近森会岡本統括看護部長、寺田管理部長から、入職者の皆さんに歓迎と期待の言葉が送られました。



▲ 社会人基礎講座で、社会人としての心構えや言葉遣いなど基本的なマナーをしっかりと勉強。講師は株式会社イトダ 原麻衣子先生。



▲ 研修終了後の新人歓迎懇親会は料理や飲み物を手に上司や同僚と語らう楽しい時間となりました。

*With Kochi,
We're CHIKAMORI*



献血 & 上位参加者表彰

2026年3月26日

献血推進を盛り上げるために、毎年、これまで地道に献血に協力してきてくれたスタッフを表彰しています。今年下記11名の皆さんが表彰されました。受賞者には表彰状と豪華副賞が贈られました。おめでとうございます！



献血の結果

- 協力者(受付者数) …… 50名
- うち献血できた方 …… 45名

多くの方のご協力
ありがとうございます！



受賞者

- 近森病院看護部 工藤 淑恵
- 近森病院看護部 久保 博美
- 近森病院看護部 影山 佐織
- 近森病院臨床検査部 市原 由佳
- 近森病院画像診断部 小倉 啓伍

- 近森病院総合心療センター心理室 北川 のぞみ
- 近森リハビリテーション病院医療福祉部 池田 佐和子
- 近森リハビリテーション病院言語療法科 橋 愛
- 経営企画部広報課 前野 さくら
- 財務部購買管理課 小谷 竜也
- 総務部秘書課 吉川 圭子

高知県赤十字血液センター献血推進課課長 小野卓二様にお越しいただき、受賞者および入江理事長、血液内科 上村特任部長ら関係者と記念撮影。

2026年度
献血開催予定

6月・10月
3月

今年度も
ご協力よろしく
お願いします！



書籍紹介



価格/3,960円(税込)
発行:メディカルユーコン
*購入サイトは
こちらからどうぞ →



『チーム医療でがん患者さんを元気にする！
漢方サポート療法 -山本巖漢方に学ぶ』

浅羽 宏一 / 著

がん患者さんを元気にしたい

近森病院 糖尿病・内分泌内科 部長 浅羽 宏一 あさほ こういち

母校の高知大学で25年間漢方医学の講義をして参りましたが、還暦を期に後進に道を譲ることにしました。集大成として当院で行っている「漢方薬によるがん治療サポート外来」での経験を本にまとめました。私は母を乳がんで亡くしましたが、母は亡くなる日の朝まで元気でした。抗がん剤の治療中、10年間十全大補湯を服用していました。私は多くのがん患者さんに漢方薬を服用していただき、母の様に元気でいて欲しいと願っています。

現代医学は病気の原因を取り除き病気を治そうと考える医学ですが、漢方医学は患者さんを元気にして病気を追い払う考えの医学です。両医学は考え方が根本的に異なりますので併用すると大きな力になります。





第7回 ALL CHIKAMORI Start Dash!!

雰囲気 + 情報 = 納得。

どちらも確認できる 近森就職セミナー

2026.2.28 開催報告

この納得、現地限定!

経営企画部 部長 山崎 啓嗣
やまさき ひろつぐ

2月28日(土)、「近森就職セミナー Start Dash!!」を開催しました。当日は午前・午後の2部制で、あわせて111名の皆さまにご参加いただき、会場は終始活気と笑顔に包まれました。

このセミナーの魅力は、希望する職種だけでなく、さまざまな職種のブースを自由に訪問できることです。それぞれの現場で働く職員から直接話を聞くことで、仕事内容はもちろん、職種同士のつながりやチーム医療の雰囲気まで感じられるのが大きな特長です。

看護師を目指す学生が臨床検査技師やリハビリ職のブースを訪れ、そこから当院で働く看護師

の役割や他職種との関わりについて理解を深めるといった流れです。

職種の垣根を越えて、「働く現場」を立体的に知ることができる。それが、このセミナーならではの魅力だと思います。

開催にあたって毎回掲げている参加者へのメッセージ。今回は、「雰囲気+情報=納得」をテーマに、皆さまをお迎えしました。そして実際に、アンケートで「就職するうえで重視している点は何ですか?」と尋ねたところ、最も多かった回答は「職場の雰囲気」でした。説明だけでは伝わらない空気感、職員の表情や言葉から伝わる安心感、そして現場のリアルな魅力が伝えられたように思います。

本セミナーが「自分らしい進路選択への一歩」となる、実りある時間になっていれば幸いです。



オリジナル展示が得意なのは、薬剤部。



実車両と同じデザイン Dr.カー模型が登場!

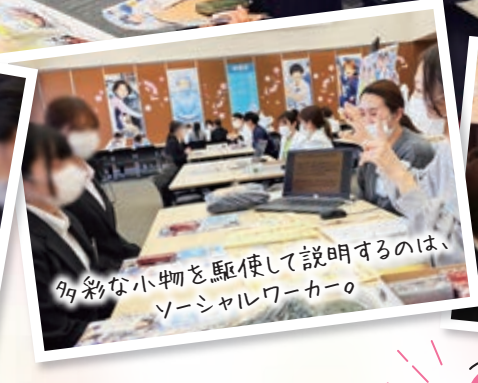


今回もたくさんの方に参加いただきました!





臨床栄養部では、栄養剤の見本展示も



多彩な小物を駆使して説明するのは、ソーシャルワーカー



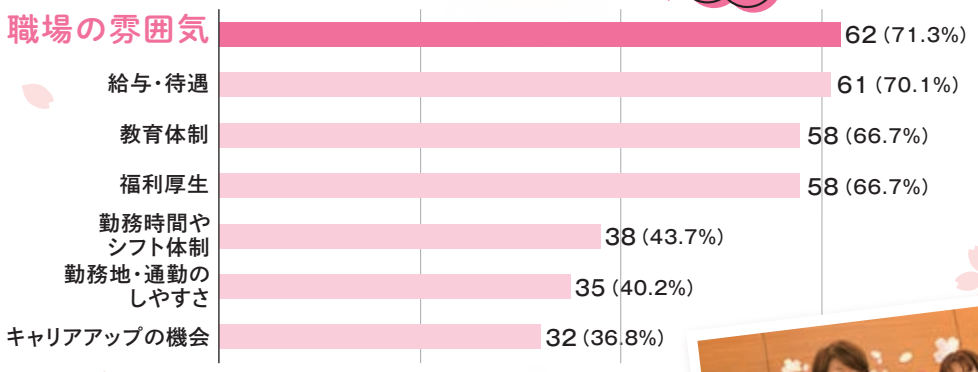
看護部では3Dブースを使って説明



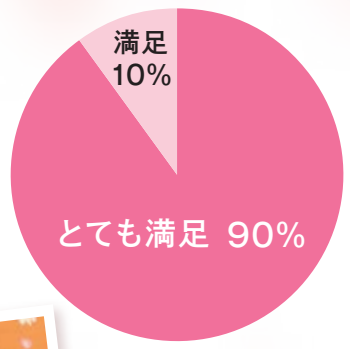
いつも話し込んでしまうのは、画像診断部

最も多かった回答

Q 就職するうえで重視している点は何ですか？



Q 見学内容には満足いただけましたか？



ヘリポート見学はいつも歓声が沸きます



いつも人気のDMATコーナーの記念撮影でパシャリ！



経理課員も交通費の精算をサポートしました



所属長と2年目の若手で臨むのは、臨床検査部



みんなに知って欲しくて作った、福利厚生の力作！



リレーエッセイ

気分転換

近森病院 リハビリテーション部
作業療法士

楠瀬 達也

くすのせ たつや



私は旅行をするのが趣味です。新しい土地を訪れ、その地域ならではの景色や文化、食べ物に出会うことが楽しみです。普段生活している場所を離れると、同じ日本でも街の雰囲気や人々の暮らし方が少しずつ違うことに気づきます。

そうした発見が、旅行の大きな魅力だと感じています。旅行では有名な観光地を巡るのも好きですが、特に印象に残るのは、何気なく歩いているときに見つけた景色やお店です。地元の人が通う食堂など、ガイドブックには載っていない場所に出会えるとその土地を少し身近に感じられる気がします。



今は、患者さんとの話題にならないかと、友達と一緒に四国遍路八十八ヶ所を車で巡りながら観光をしています。仕事や日常から少し離れて新しい景色を見ることで、気持ちがリフレッシュされ、また頑張ろうという気持ちになります。

これからも様々な場所を訪れ、まだ知らない景色や文化に触れていきたいと思っています。



私の趣味

ハーブ香る暮らし

近森リハビリテーション病院
5階病棟 介護福祉士

吉岡 学

よしおか まなぶ



最近、ハーブを育てるのにハマっています。特に気に入るのがローズマリーとタイムです。どちらも丈夫で育てやすく、ベランダや庭でも気軽に楽しめるのが魅力です。朝、水やりをするときにふわっと広がる香りがとても心地よくて、それだけで少し気持ちが落ち着きます。ハーブの香りにはリラックス効果もあるといわれていて、日常のちょっとした癒しになっています。

育てる楽しさだけでなく、料理に使えるのもハーブの大きな魅力です。ローズマリーは肉料理との相性が抜群で、鶏肉や豚肉を焼くときに一緒に使うと香りが移ってとても美味しくなります。タイムは魚料理ともよく合い、ソテーなどに加えると、爽やかな風味が料理を引き立ててくれます。いつもの料理でも、少しハーブを加えるだけでぐっと本格的な味わいになるのがとても魅力的です。

自分で育てたハーブを料理に使うと、香りも新鮮で特別感があります。摘み取ったハーブをキッチンに持って行く瞬間は、ちょっとした贅沢な気分になります。

育てる楽しみ、香りの癒し、そして料理の美味しさ。ハーブは暮らしの中に小さな豊かさをくれる存在だと感じています。



FREE

私の○○

まるまる

○○にフリーワードを入れて
語っていただきました

私の「親子でハマる！ 進化系シール交換」

近森病院 HCU 看護師

加納 佐和

かのう さわ



いま、我が家で一番熱いブームは「シール」です。きっかけは、私が幼い頃に仲の良い友達と夢中になったシール交換でした。当時は可愛いシールがどこでも手に入りましたが、最近は昔のように気に入ったものが売っていないことも多くなりました。

そこで、「ないなら自分たちで作ってみよう!」と思い立ち、今では娘も息子も、そして私までもが一緒になってシールの手作りに励んでいます。自分たちの好きな絵を形にする作業は、我が家の何よりの団らんの時間になっています。

完成したシールを持って、子供たちは友達との交換も元気に楽しんでいます。一枚の小さなシールをきっかけに会話が弾み、笑顔が広がっていく様子を見るのが、親としての私の癒やしです。大人も子供も関係なく、同じ目線で夢中になれるこの時間を、これからも家族で大切に育んでいきたいです。



近森
相談役の
ぶらり
旅

真山伝承館では、ナマハゲを丁寧に迎える古い伝統としきたりにもとづいた、真山のナマハゲ問答を体験することが出来ます。



▲ ナマハゲ館では、男鹿60地区の150を超える多種多様な面・衣装が展示されています。

ユネスコ
無形文化遺産

男鹿のナマハゲ

5月下旬、男鹿温泉郷に1泊し、ナマハゲで有名な男鹿半島をぶらりと巡って来ました。大晦日の晩、それぞれの集落の青年たちがナマハゲに扮して「泣く子はいねが一、親の言うこと聞かぬ子はいねが一」などと大声で叫びながら地域の家々を巡ります。

ちなみに、男鹿の人々にとってナマハゲは恐いだけの鬼でしょうか？

(答えは16ページの下)



◀ 真山神社は十二代景行天皇の時代に創建されたと伝えられ、ナマハゲゆかりの神社です。



▲ 真山の万体仏は、小さなお堂の中に20cmほどの地藏菩薩像がおおよそ12,000体納められています。

◀ 寒風山展望台より、男鹿半島南側の長い弓なりの海岸線がすてきです。



看護学校通信

入試制度が新しくなります
～多様な力を評価する選抜へ～

近森病院附属看護学校 教務主任 上総 満高 かずさ みつたか

本校では、2027年度入試より入学者選抜制度を一部見直します。これまでの一般選抜・社会人選抜・学校推薦型選抜に加え、「総合型選抜」および「病院附属校連携選抜」を新たに設けました。

これにより、学力だけでなく、看護への関心や学ぶ意欲、将来の目標、地域に貢献したいという思いなども大切に選抜を行います。また、受験機会の幅を広げ、一人ひとりの可能性に目を向けた評価を行ってまいります。これからも地域医療を支える人材の育成をめざし、教育内容と入試制度の充実に取り組んでまいります。

詳しくは募集要項をご覧ください。



編集室通信

先日の学会で訪れた米子にて、「ばばあ」という珍しい魚をいただきました。正式名はタナカゲンゲ。見た目に驚きつつも、脂がのり上品な味わいに感動しました。土地の食文化に触れることも学会参加の楽しみの一つだと実感したひとときでした。 熊五郎

診療数 2026年3月

— 電子カルテ管理課 —

● 近森会グループ

外来患者数	17,106人
新入院患者数	1,143人
退院患者数	1,143人

● 近森病院(急性期)

平均在院日数	11.73日
地域医療支援病院 紹介率	109.66%
地域医療支援病院 逆紹介率	392.28%
救急車搬入件数	547件
うち入院件数	343件
手術件数	570件
うち手術室実施	357件
うち全身麻酔件数	252件

南 和芳

Waka Minami

近森リハビリテーション病院
5階病棟 看護師長

聞き手／ひろっぱ編集部



聴くチカラ、待つ看護 リハ魂を 道しるべに

昨年度、近森会グループMVP(個人部門)を受賞した南看護師長。後輩への丁寧な指導や、新たな人材の確保につながる企画運営などが高く評価された。入職以来、近森リハビリテーション病院に所属し、回復期リハビリテーション(以下、回リハ)一筋28年。自らの失敗談さえも笑いに変えながら、回リハ看護師としての魅力を大らかに語ってくれた。

もどかしさを越えて見つけた『リハ魂』

「回リハの看護師の仕事は、やりがいではない」ときっぱり。その確認を深めたのが、主任時代に取得した一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会の「回復期リハビリテーション看護師」での学び。患者さんの動作を、ただ手伝うのではなく、介助の根拠や「待つ」ことの意義を言語化できるようになったのは、大きな自信になった。それまでは、後輩への説明も「そういうものだから」と曖昧になりがちで、もどかしさを抱えていたという。「けれど、研修で学ぶにつれ、和田院長がおっしゃっていた『リハ魂』という言葉が降り注いできました」。

必然的に、退院を控えたご家族への指導の説得力にもつながり、また、多職種連携が充実している近森会の環境を再認識できたという。他院の回リハ看護師とのネットワークは、今も続く財産となっている。

仕事を続けたいから、残業はしない

仕事におけるこだわりの一つが、残業は(基本)しないこと。「プライベートも大切に

したい私は、仕事時間が多くなると、きっと嫌いになる時が来る。だから、今日はここまでと諦めることもある(笑)」と。20代の頃から定時を意識し、業務に優先順位をつける努力を続けてきた。

これは同時に、他のスタッフの時間を奪わないことにもつながる。突発的な業務が多いことは理解の上で、例えばカンファレンス時間は厳守したいと考える。

ちなみに、オンとオフの切り替えはロッカーでの着替えがスイッチ。「早く夕飯の事を考えんといかんですき」と、ユニフォームを脱ぐと同時に母の顔に戻るのだ。

三世代、賑やか7人家族

現在は、両親と夫、3人の息子と暮らす。家を建てる際に同居を熱望したのは、子どもたちに人が老いていく過程や、そこにある優しさを肌で感じて欲しかったから。「私自身が子どもの時におばあちゃんと暮らしたかったです。同居を嫌がる両親をなんとか説得しました。私に叱られた子が、祖父母の元へ逃げ込む姿を、いいなあと横目で見て微笑んでいます」。

室内でバスケットボールが飛び交い、リビングが卓球場と化すほど賑やかだった家も、



この春に末っ子が中学へ進学し、ようやく一息ついた。そこで掲げた新たな



な挑戦が、大型バイクの免許取得。「夫とツーリングへ出かけ、すれ違うライダーとかっこよく挨拶を交わすのに憧れています」。そんな風を感じる日々を、今から心待ちにしているようだ。

回リハ看護師は天職

現在、管理者として培ってきた「回リハ看護の奥深さ」を言語化し、後輩へ伝えることを自らの使命と捉える。それこそが、長年回リハ看護師として、ひたむきに歩み続けてきた南看護師長だからこそ果たせる役割に違いない。

「本は読まない」と笑うが、その言葉には豊かな表現力が宿る。誰に対しても決して人の話を遮らなかつた祖母との会話や、「石ころにも物語がある」と説いた先輩、そして数多くの患者さんの声に真摯に耳を傾けてきた経験の蓄積が、対話の力になっているようだ。

聴き、待つことは回復期リハ看護における極めて重要なケア。その技術を武器に、スタッフの小さな言葉(様子)に耳を研ぎ澄まし、本音を見逃さぬよう心を配る。専門職としての確かな根拠と、持ち前の天真爛漫さ。「回復期リハ看護が天職」と語るその姿は、一人の職業人として幸福に満ち、周囲に「南看護師長のようにになりたい」と思わせる強さに溢れていた。